

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公開番号】特開2016-50233(P2016-50233A)

【公開日】平成28年4月11日 (2016.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-022

【出願番号】特願2014-175351(P2014-175351)

【国際特許分類】

C 0 8 J 5/10 (2006.01)

C 0 8 G 59/50 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 5/10 C F C

C 0 8 G 59/50

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月7日 (2016.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

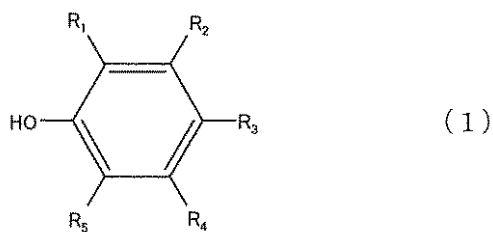
【請求項 1】

(A) 3, 5-ジエチルトルエン-2, 4-ジアミンと (B) 3, 5-ジエチルトルエン-2, 6-ジアミンとからなる硬化剤及びエポキシ樹脂を含有し、(A) 成分と (B) 成分との質量比 (A/B) が 2 以上 5 以下であることを特徴とする繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物。

【請求項 2】

下記一般式 (1) :

【化 1】



(式中、 $R_1 \sim R_5$ は、それぞれ独立に、水素原子、水酸基、エチル基、プロピル基、ブチル基及び t -ブチル基からなる群から選択され、 $R_1 \sim R_5$ の少なくとも 1 つは水酸基であり、 $R_1 \sim R_5$ の少なくとも 1 つはエチル基、プロピル基、ブチル基又は t -ブチル基である) で表される硬化触媒を含有することを特徴とする請求項 1 に記載の繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物。

【請求項 3】

前記硬化剤の含有量が、前記エポキシ樹脂 100 質量部に対して 20 質量部以上 40 質量部以下であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物。

【請求項 4】

前記エポキシ樹脂が、1 分子中に 2 つのエポキシ基を有するエポキシ樹脂と、1 分子中

に3つ以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂との混合物であることを特徴とする請求項1～3の何れか一項に記載の繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物。

【請求項5】

請求項1～4の何れか一項に記載の繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物の硬化物と繊維とからなることを特徴とする繊維強化複合材料。

【請求項6】

請求項1～4の何れか一項に記載の繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物を繊維に含浸させる工程と、含浸後の繊維を回転するマンドレルに巻き付ける工程と、マンドレルの外周面に巻き付けられた繊維を加熱して繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物を硬化させる工程とを含むことを特徴とする繊維強化複合材料の製造方法。